

Wellbeingな政策サイクル実践のためのKPI設計研修コンテンツの開発実証

【いわき市】×【NTTデータ経営研究所】

1 解決したい地域課題

- ・ いわき市は、総合計画に代わる新たなまちづくり基本方針のもと、長期的な「未来ビジョン」と中期的な「中期戦略」の策定を進めている。
- ・ 従来の中長期計画の策定にあたっては、政策・施策と目標（KPI）の関係性が不明確な状態となっており、政策・施策の妥当性や有効性を十分に検証できなかった。
- ・ こうした背景を踏まえ、今後は政策・施策の論理的なつながりを明確化し、実効性のあるKPIの検討が課題となっている。また、これらの検討を職員が自ら実行できる（政策立案能力の向上）ことも重要な課題である。

2 実証事業の到達目標

- ・ いわき市職員が政策・施策立案にあたって、次の指標（KPI）を検討できる状態に到達することを目標とする。
- ① 政策や施策を通じた最終的な目標（目指す姿）及び目標達成に向けた道筋を示す指標
- ② 市民や外部からみて、納得感・妥当性・アカウンタビリティのある指標
- ③ 政策や施策の進展度合いを把握することができる指標
- ④ 職員の手応え、反省・改善に寄与する指標

3 実施内容

【政策立案に向けたロジックモデル活用研修会】

- ・ 中期戦略に向けて、いわき市職員が政策・施策の有効性を測定する指標を検討・設計できるようにするための方法論を習得するための研修会を開催した。
- ・ 研修会は、①講義、②ワークの形式に分け、講義では政策立案の考え方やロジックモデルの作成方法の知識を学び、ワークでは、チーム別に実際にロジックモデルを作成しながら政策・施策及び施策の効果を図る指標を検討した。

研修概要

- ・ 開催日時：2025年11月21日（金）13:30～17:00
- ・ 研修会場：いわき市役所 会議室
- ・ 研修参加者：19担当課20名（主査・主任級）
- ・ 研修内容：
第1部 講義 ①政策立案の考え方 ②ロジックモデルの作成方法
第2部 ワークショップ（4チームに分かれて各チーム1テーマに関する目的～成果までに関するロジックモデルを作成）
テーマ：教育・子育て
暮らし・地域づくり
産業・中活・人材確保/育成
観光・文化・スポーツ

※ロジックモデル：事業や施策の目的を起点に、投入する資源、実施する活動、得られる成果、最終的な効果までの因果関係を整理する考え方。何をすれば何がかわるのかを明確にし、説明責任や改善に役立つ。

▼ 講義の様子

▼ ワークの様子

▼ ワーク成果物

研修参加者の声

- ・ 計画や指標は以前からあるものを漫然と使用してしまっていて、方策ばかり検討していましたが、課題を解決するという本来の目的を達成するためには、そもそもまず課題を分析することが重要であり、ロジックモデルで指標から練り直すことが、大変ですが近道なのだと感じました。
- ・ 行政が仕事をするうえで「モヤモヤ感」がなくなったら終了。常にモヤモヤを感じつつ見直し・改善の繰り返しが必要。とても良い気づきをいただきました。（この言葉に私はスッキリしました笑）
- ・ 様々な研修の中で、一番充実していたと思いました。板につくまでは、実践あるのみですが取り組みたいと思います。

研修後アンケート結果

- ・ アンケートの結果、参加者全員が知見を得ることができ、研修内容に満足した。

Q1 政策立案の考え方について、講義やワークショップを通じて新たな学びや知見を得ることができましたか。

回答選択肢：とても思う(70.6%)、そう思う(29.4%)、あまり思わない(0.0%)、全く思わない(0.0%)

とても思う	70.6	そう思う	29.4
-------	------	------	------

Q2 ロジックモデルを作成・活用する意義やその方法について、理解することができましたか。

回答選択肢：よく理解できた(35.3%)、理解できた(64.7%)、あまり理解できなかった(0.0%)、全く理解できなかった(0.0%)

よく理解できた	35.3	理解できた	64.7
---------	------	-------	------

Q3 以下のような指標を設定するための考え方について、理解できたか教えてください。（到達目標の4つ※省略）

回答選択肢：よく理解できた(35.3%)、ある程度理解できた(64.7%)、あまり理解できなかった(0.0%)、全く理解できなかった(0.0%)

よく理解できた	35.3	ある程度理解できた	64.7
---------	------	-----------	------

Q4 今後、自身の業務(政策・事業立案)において、本日学んだ課題分析やロジックモデルを活用してみたいと思いましたか。

回答選択肢：とても思った(70.6%)、思った(29.4%)、あまり思わなかった(0.0%)、全く思わなかった(0.0%)

とても思った	70.6	思った	29.4
--------	------	-----	------

Q5 研修会の全体的な満足度を教えてください。

回答選択肢：大変満足(58.8%)、満足(41.2%)、やや不満(0.0%)、不満(0.0%)

大変満足	58.8	満足	41.2
------	------	----	------

0.0

20.0

40.0

60.0

80.0

100.0

4 まとめ（今後の展望）

- <自治体>
 - ・ 今年度の取り組みにより、実際に事業構築を担う担当者レベルの職員がロジックモデルの必要性を実感でき、良い気づきを得られた。
 - ・ 中期戦略策定作業の過程においても、研修参加者から職場内への横展開や今年度と同様の研修実施によりロジックモデルを活用したい。
- <企業>
 - ・ 本取組を通じて、効果的な政策立案に向けた考え方・手法として、自治体職員がロジックモデルを習得することによる有効性が確認された。
 - ・ 今後は、本研修において開発した研修パッケージ内容のさらなる改善を図るとともに、他自治体においても効果的な政策立案・評価が実施でき、効果的な地域づくりに資する支援を実施する。